

令和8年2月12日開催
調 査

経済福祉常任委員会資料

○調査事件13 町内介護事業の現状について

福 祉 課

調査事件 13 町内介護事業の現状について

1 町内事業者の提供サービスについて

当町の介護事業者は、町内で介護3事業者が介護サービスを提供しており、介護サービスの提供内容は、在宅サービスでは訪問介護、訪問入浴介護、短期入所生活介護（ショートステイ）、地域密着型通所介護（デイサービス）、認知症対応型生活介護、居宅介護支援（ケアプラン）の6つのサービスとなっております。また、施設サービスでは、介護老人福祉施設のサービスとなっております。なお、過去3年間の12月提供分のサービス利用者数は、次のとおりとなっております。（単位：人）

事業者	サービス種類	R5	R6	R7
社会福祉協議会	訪問介護	20	14	17
	訪問入浴介護	9	10	8
	居宅介護支援	26	17	21
福島幸愛会	地域密着型通所介護	30	20	21
	短期入所生活介護	6	6	6
	認知症対応型共同生活	9	9	8
	介護居宅介護支援	31	23	30
	介護老人福祉施設	38	42	39
スマイル	訪問介護	58	55	52
	居宅介護支援	64	66	58

2 職員体制について

町内の3事業者の職員体制について、全体で100人が介護サービスに従事しており、各事業所の内訳は次のとおりとなっております。各事業所において、創意工夫をしながら限られた職員体制の中で、サービスを提供しています。

事業者	職員数
社会福祉協議会 9人	<ul style="list-style-type: none"> ・ 訪問介護 5【介護職員 5】 ・ 訪問入浴 3【入浴ヘルパー、入浴介助員、看護師】 ・ 居宅介護支援 1【介護支援専門員 1】
福島幸愛会 65人	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域密着型通所介護 8【生活相談員 1、看護職員 1、介護職員 6、機能訓練相談員 1（兼）、事務員 1（兼）】 ・ 認知症対応型共同生活介護 12【管理者 1（兼）、介護職員 10、計画作成担当者 1、その他 1】 ・ 居宅介護支援 1【管理者 1、介護支援専門員 1（兼）】 ・ 介護老人福祉施設・短期入所生活介護 44【管理者 1、介護職員 22、看護職員 4、介護支援専門員 1、管理栄養士 1、調理員 7、事務員 2、その他 6】
スマイル 26人	<ul style="list-style-type: none"> ・ 訪問介護 24【介護職員 24】 ・ 居宅介護支援 2【介護支援専門員 2】

3 サービス利用者の状況について

町内3事業者のサービス利用者の状況は、社会福祉協議会46名、福島幸愛会104名、スマイル112名、計262名となっております。なお、利用サービス及び利用者の介護度（令和7年12月提供分）は、訪問介護69人、居宅介護支援111人、介護老人福祉施設39人など内訳は次のとおりとなっております。

① 社会福祉協議会

(単位：人)

サービス	要介護					
	1	2	3	4	5	計
訪問介護	10	4	1		2	17
訪問入浴介護			1		7	8
居宅介護支援	10	2	4	1	4	21
合計	20	6	6	1	13	46

② 福島幸愛会

(単位：人)

サービス	要介護					
	1	2	3	4	5	計
地域密着型通所介護	9	7	4	1		21
短期入所生活介護	2		1	3		6
認知症対応型共同生活介護	4	1	1	2		8
居宅介護支援	11	11	4	2	2	30
介護老人福祉施設	2		9	19	9	39
合計	31	19	38	27	11	104

③ スマイル

(単位：人)

サービス	要介護					
	1	2	3	4	5	計
訪問介護	28	12	3	3	6	52
居宅介護支援	31	13	4	4	8	60
合計	59	25	7	7	14	112

○合計

(単位：人)

サービス	要介護					
	1	2	3	4	5	計
訪問介護	38	16	4	3	8	69
訪問入浴介護			1		7	8
居宅介護支援	52	26	12	7	14	111
地域密着型通所介護	9	7	4	1		21
短期入所生活介護	2		1	3		6
認知症対応型共同生活介護	4	1	1	2		8
介護老人福祉施設	2		9	19	9	39
合計	107	50	32	35	38	262

4 町内介護事業者の現状について

1月13日に議員と町内3事業者による懇談会が開催され、各事業所から発言がありました現況報告の中では、各事業所の共通的な意見として、職員の人材不足や高齢化の部分が課題となっており、各事業所で職員を募集しても応募者がいない状態で苦慮している旨の意見が多くありました。

また、在宅サービスでは、人口減等により介護サービス利用者も減少していく傾向の中で、訪問介護においては介護報酬の改定により報酬が減少したことにより、事業者の経営が大変厳しい状況となっています。

施設サービスでは、施設内で新型コロナウイルスやインフルエンザ等感染症の集団感染が発生すると、施設職員の負担が増えるとともに、施設の受け入れが停止するなど、施設の運営に影響が出てくるとの意見がありました。

こうした中で町内の3事業所で設置している「福島町福祉施設等連絡協議会」で、介護人材不足や経営問題など各施設の共通した問題が話し合われており、町を含めた3事業所で今後の介護事業のあり方について、町が主導的な役割を担い、今後の在り方を協議する場を求められておりますので、今年度中の開催に向けて準備を進めてまいります。

5 介護事業の対策について

町では、介護事業所における人材不足の解消に向けた取り組みとして、次のとおり事業を実施いたします。

① 就労奨励金の給付について【新規】

令和8年度より町内に所在する介護事業所等における介護人材の確保及び定着を図るため、新たに就労する者に対し、就労奨励金の給付を実施いたします。

- (1) 就労奨励金 5万円から15万円
- (2) 対象者 町内の介護事業所に新たに就労した者、又は復職した者
 区分 ①週20時間以上勤務で6カ月以上雇用 10万円
 ②町外からの転入者 5万円加算
 ③月12日以上勤務（非常勤職員）で6カ月以上雇用 5万円
- (3) 予算 50万円
 ①+② 常勤2名×15万円=30万円
 ③ パート4名×5万円=20万円

② 外国人介護人材育成事業負担金について【継続】

令和7年度より介護職員不足を解消するため、東川町で実施している「外国人介護福祉人材育成協議会」に加入し、東川国際文化福祉専門学校介護福祉科の外国人留学生2名（インドネシア・中国）と陽光園との間でマッチング合意しており、令和8年度は2年目を迎えます。

なお、外国人留学生2名は、卒業後の令和9年4月より陽光園に勤務することとなっています。

区分	R7実績	R8予算	計
正会員年会費	2万円	2万円	4万円
奨学金2名分	740万円 (2名×370万円)	740万円 (2名×370万円)	1,480万円

- ・奨学金の8割が特別交付税で補填されます。
- ・奨学金370万円 留学生の1年間に係る授業料、寮費、生活費、資格取得費等

町では、これから上記の事業を進めてまいります。町内の介護サービスにおいて、利用者の減少などの理由により、町内の事業所を取り巻く環境はますます厳しい状況にあります。

加えて、社会全体が人口減少に伴う人手不足が顕著な状況が続いており、特に介護人材は慢性的な人手不足が続いている状況にあります。

このような状況下において、町においても介護保険事業の運営に影響が生じる恐れがあり、引き続き、各事業所と連携を図りながら人材支援を継続するなど、介護保険の適正な運営に努めてまいります。